

工事名 熊野川総合開発事業熊野川ダム建設工事 発注者 富山県 施工者 新田大成 九新宮建設株式会社



1984/8 NO.187

県営熊野川ダム竣工（6月16日）
神通川の支流熊野川の総合開発の
中核となる多目的ダムが完成



待望の飛翔!!



三月十八日に富山新空港が開港して以来、塔乗率九十五パーセント、乗りたい人が乗り切れない全国一の満員ジェットですが、それを解消しようと富山県民の強い要望にこたえて就航した新鋭のボーイング767型機。七月二十一日からいよいよ第二便に登場しました。

この機種には新しい大きな七つの特徴があります。

- ①省エネ型で経済性抜群
- ②YS11型なみの低騒音
- ③最新の電子航空技術の導入
- ④新型の翼で短い滑走路もOK
- ⑤新しい合金で重量軽減
- ⑥日本製の内装で快適な居住性
- ⑦大きい貨物室で輸送力アップ

737型に比べて座席数は倍増、推力は三倍も強化、乗客一人当りの燃量は半減、騒音は約四分の一と良いことづくめ。

十月からは一日二便になり、輸送力もグンとアップします。

▲B767の騒音測定をする県担当者

騒音はB737の四分の一

あなたのふるさと

— 魚津 松倉城址ふるさと歩道 —



入口は角川ダム



小鳥のコースの中を登ります。

魚津市街から南へ約八キロ、角川に沿って鹿熊の集落があります。いまは山あいの静かな里ですが、かつては人口三万人を抱える松倉城の城下町として栄えていました。

松倉城は標高四百三十・九の鹿熊山の山頂にあって、いつ

現在県営角川ダムから松倉城まで、水と緑に親しみ、戦国の人々の夢をたどろうと「松倉城址ふるさと歩道」が設けられています。ルリ色の湖水を下に見て林道をしばらく行くと、右手に「登山道入口」の柱があります。道は杉木立ちの中、生い茂る草を踏み分けながらの登りです

頃築城されたかは不明ですが、椎名氏が長く居城とし、天正十年柴田勝家によって落城するまで、周辺の魚津城、天神山城、舩方城などを出城に従え、越中最大の山城として君臨していました。



涼しい風の吹く本丸跡

入り口から約二キロ、急な階段を登りきると、一度に視界がひらけます。そこが松倉城本丸の跡です。さすが越中随一の要害の地、目の前には大きく富山湾が展開し、魚津から富山まで一望できます。本丸跡で一休みして、林道を



このコーナーでは、読者のみなさんのふるさとを紹介した写真と原稿をおまわっています。ふるってご応募ください。

●送付先 〒930富山市新総曲輪一番七号 県広報課「あなたのふるさと わたしのふるさと」係

北へ下ります。処刑場の跡という獄門原、家老の武隅氏の屋敷跡などを歩いて終点は松倉小学校の前です。

一周約七キロ、ゆっくり歩いて約五時間、帰りは近くの北山鉱泉まで足をのばし、汗を流してから、名物の山菜料理などいかがですか。

8月号

もくじ

クローズアップ	
待望の飛翔!!	1
自然保護の伝道師ナチュラリスト	2・3
未来への可能性 NEW ART	4・5
水・この恵まれたるもの	6~9
開かれた県政をめざして	10・11
TOYAMA JUST NOW	
立山砂防トロッコ軌道	12・13
深刻化する少年非行	14・15

道路は夢のパッケージ	16
バイロロジーもよいけれど...	17
不動産取得税のしくみ	18
8月の富山	19
くらしの情報コーナー	20・21
トピックス	22・23
お知らせ	24
特産王国とやま	
世界の夏を彩るかのこゆり	表3

自然保護の伝道師 ナチュラリスト



私たちが街を抜け出して野や山に遊ぶとき、見知らぬ花や鳥のさえずりに足を止め、雄大な自然の景観に目を奪われることがよくあります。こんなときには、名前を知っていたらもっと花や鳥と親しくなれるのに山や川の歴史を知っていたらもっと豊かな気持ちになれるのにと思いませんか。

そこでそんな私たちの自然への橋わたしをしてくださるのがナチュラリストの皆さん。立山やねいの里などの現地で、具体的にわかりやすく富山の恵まれた美しい自然について解説し、自然保護の重要性を訴えるボランティアの人々です。

富山県のナチュラリスト制度は、昭和四十九年に地方自治体としては初めての制度としてスタートしました。シーズン中、約九十万人の人々の訪れる国際的山岳観光地立山のナチュラリスト活動は、大変沢山の人々に親しまれ、またその、自然保

護運動に果たした役割は高く評価されています。

最初は七十四名、立山の室堂地区だけの活動でしたが、十年たった現在、ナチュラリスト認定者は二百二十五名、室堂地区のほか弥陀ヶ原、称名滝、ねいの里、頼成の森でも活動しています。会社員、教員、公務員、商店主、主婦と職業はさまざまです。ただ転勤や身体都合で活動を続けられなくなったナチュラリストも増えてきたため、今年、新たに六十名を養成しています。

ナチュラリスト歴十年の清水巖さんにお話をうかがいました。「高山の動植物は大変きびしい自然の中で生きています。『ひとふみ十年』と言うんです。草のようにみえるチングルマも、樹木なんです。ちょっと気軽にふみつけたチングルマの枝は、実は十年の年月をかけてやっと育ったもの。十年ものの庭の松の木をあなたは気軽に切れますか。」

立山のナチュラリストは八月一杯まで、称名滝は十月二十八日まで、ねいの里、頼成の森は十一月四日まで活動します。

未来への可能性 NEW ART

第二回 富山国際現代美術展開催中



7月15日行われた横尾忠則公開制作、熱い視線を浴びて描く。

県立近代美術館では、流動する世界の現代美術の現況を紹介する「第二回 富山国際現代美術展TOYAMA NOW'84」を開催しています。
今回は、ドイツ連邦共和国、オランダ、ベルギー、デンマーク、ノルウェー、スウェーデン、そして日本を結び、それぞれの国でいま、最も意欲的に活躍している作家たちの作品を展示、二十一世紀に向かう世界の美術の動向をさぐるうとするものです。

また作品の展示という静的な形式だけではとらえきれない今日の多様な美術の諸相を、評論家や作家の言葉や行動によって表現する連続イベント「もう一つの発言」も併せて開催しています。

▽小清水漸十池辺晋一郎「美術と音楽の対話」七月二十二日

美術と音楽という異なるジャンル間の相互理解をめぐって、美術家小清水氏と音楽家池辺氏の討論会と池辺氏の作

品による音楽会も開かれました。

▽菅木志雄イベント「縁辺は動く」七月二十九日

「触れる」ことを主題に、「モノ」や「状況」に限りない関心を寄せる菅氏が、展示室空間に即したイベントを展開しました。

これから九月二日までの会期中、次のイベント、映像プログラムを予定しています。

▽公開座談会「現代を造形する女性たち」八月十二日(日)午前二時から

芸術の領域にも進出めざましい女性作家の眼を通して、現代の文化・美術等の現況を浮き彫りにしようとする試み。女性作家たち||辰野登恵子、矢野美智子、吉澤美香、藤江民ほか

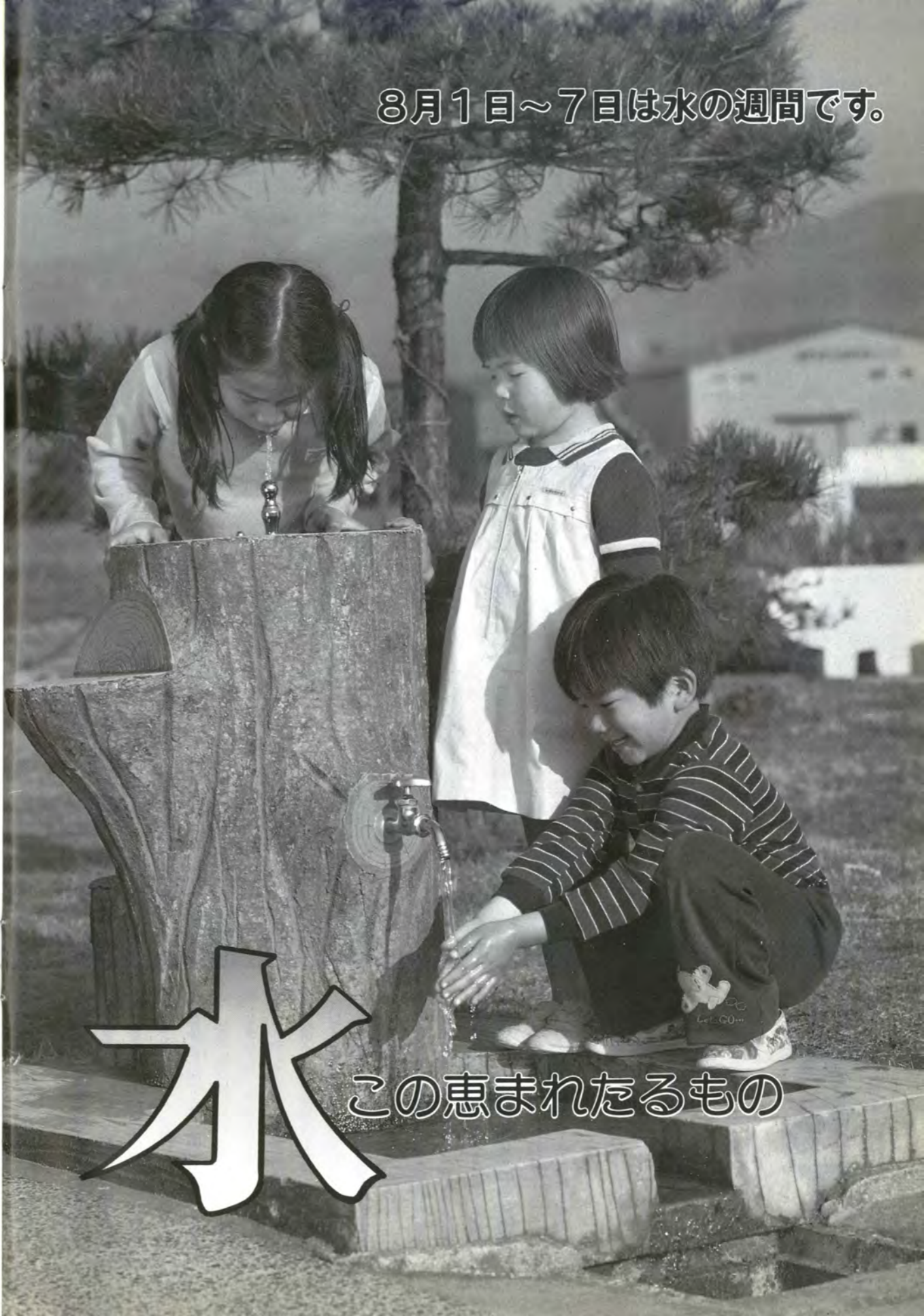
▽「ドイツ・ビデオアート二十年の歩み1963-1983」八月一日(水)〜五日(日)午後二時から

▽ベルギーのアニメーション「ラオル・セルベスの世界」八月十四日(火)〜十七日(金) 午後二時から

▽ベネルクスの現代美術「モンドリアンからフィッサーまで」八月十八日(土)、十九日(日) 午後2時から

▽スカンジナビアの美術「北欧の伝統と現代」八月二十五日(土)、二十六日(日) 午後二時から

8月1日～7日は水の週間です。



水

この恵まれたるもの

「水」という言葉で、あなたは何を連想しますか。川、海、雨、氷、井戸、台所、電気……水は生命の源です。私たち人間はもとより、地球上のあらゆる生物にとって欠かすことのできない物質です。また私たちの暮らしや産業活動を支える重要な資源であり、水は私たちと多くの所で深くかわりをもっています。



信仰の水

昔から「湯水のごとく使う」と言われて、水はただで使えるあまり余るものと考えられてきました。今日では水は限りある貴重な資源となつて利用することができません。

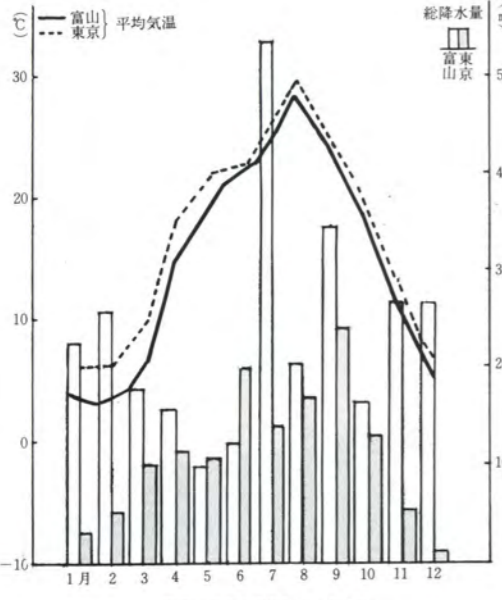
地球上の水は、海や陸から蒸発して雲になり、雨や雪となつて再び地上に降り、川に入り、一部は地下水となつてやがては海にもどるといふ循環を繰り返しています。地表面の実に七四〇は水でおおわれていますが、私たちの身近にあって使える水はそのわずか〇・八割にすぎません。九九・二割は海水や南極やグリーンランドの水です。と、ここで日本は多雨地帯に位置していますが、狭い国土に多

数の人口を抱えており、一人当りの降水量は世界平均の五分の一以下、それも梅雨や台風など限られた時期に集中しているため、私たちが有効に使える水は年間降雨量の三分の一にすぎません。

います。水の主の竜や蛇の話、いたずら河童の話、泉や池の出現の由来など、私たちの先祖が水を恐れ、水に苦しみ、そして水から恩恵を受けてきたことを物語っています。

年間降水量二千三百四十六ミリ(平年値)、大小三百を超える河川、富山県は全国有数の水に恵まれた県です。河川には年間二百億トンもの水が流れていきます。ですから水は富山県にとって大変重要な役割を果たしてき

月別平均気温と総降水量(昭和58年)



資料 富山地方気象台、気象庁

少ない水は、海や陸から蒸発して雲になり、雨や雪となつて再び地上に降り、川に入り、一部は地下水となつてやがては海にもどるといふ循環を繰り返しています。地表面の実に七四〇は水でおおわれていますが、私たちの身近にあって使える水はそのわずか〇・八割にすぎません。九九・二割は海水や南極やグリーンランドの水です。と、ここで日本は多雨地帯に位置していますが、狭い国土に多



働く水

ました。豊かな実りをもたらす緑の沃土は、水が山を削り、川となって土砂を堆積した結果です。そしてそのことは逆に水がたびたび脅威となって破壊的な力を人間にふるってきたことを意味します。

明治十六年、富山県が石川県から分県したのは、その水を治めるためでした。その後の百年の歴史は、苦しい水との戦いの歴史であり、水を治め、水を活用することで今日の繁栄を迎えることができたといえます。

活躍する水

私たちの先人の偉大な努力の賜物として、水は幸をもたらす資源に変貌しました。富山県で使われている年間七十五億トンの水のうち、七十億トンは農業用水、残りは工業用水と生活用水です。また水は、エネルギー資源としても重要です。富山県内の発電電力量は、百四十五億六千キロワット（昭和五十七年度）ですが、そのうち水力発電の占

める割合は五十八徑にもなり、

日本一の水力発電量を誇っています。この水力発電こそがこれまでの富山県発展の最大のけん引力でしたし、将来も大きな役割を果たすはずで

最近では上下水道など都市の生活用水の需要が増加しています。が、本県の場合特に冬期間の水需要が激増しています。暖かい

地下水を利用した消融雪装置や

高低差を利用した流雪溝など、雪に強いまちづくりのための水利用です。

でもこの冬はかなりの大雪でした。そのため大量の地下水が汲み上げられて井戸水が出なくなったり、水路が閉塞して浸水家屋が出たりして、新しい都市災害をひきおこしてしまいま



楽しい水

これからの水利用

私たちの生活水準の向上、産業の発展につれて、水の需要はますます増大しています。そのためにも水資源の確保が大切です。国や県などでは、将来の水需要をみこして的確な計画を作り、水源ダムを中核とした河川の総合的開発を行っています。六月に完成した県営熊野川ダムも、治水、発電、都市用水など多目的な水利用を図るダムです。

しかしダムは水が不足するといってすぐに作れるものではありません。この熊野川ダムは、昭和四十一年に予備調査を始め、実際の建設には十年の歳月と百六十七億円の工費を必要としました。またダムの建設は、農地や山林を水没させ、湖底に沈む地域はもちろん、その周辺の人の生活や地域の将来にも大きな影響を及ぼします。

私たちは、水源地域の多くの人々の理解と協力を得て開発されたこの貴重な資源を、大切に使わなければなりません。



憩いの水



コップ3杯程度ですむ歯みがきも、流しっ放しでは、1分間約6ℓの水のムダ。



洗濯でも、工夫をすれば1回100ℓの水ですむはずで、流しっ放しスタイルだと240ℓになります。



浴槽は小さなものでも200ℓ、せめて残り湯の半分位は、洗濯・掃除・撒き水に使えるそう。



洗面、炊事には、水の出を調節して…。節水コマもあります。



バケツ洗いなら5杯ですむ洗車も、流しっ放しのホース洗いでは、30杯以上の水が必要



水洗トイレなど、節水型機器も開発されています。

水の節約は身のまわりから

そのためには、水の再利用と節約が必要です。例えば工業用水の再利用や処理済下水の雑用水への利用が進められようとしています。また地下水の枯渇や地盤沈下などを防ぐために、県では河川水の使用や、使用済の水の地下への注入なども検討しています。もちろんこのためには水質汚染防止などの努力も必要です。有機リンを含む洗剤の使用自粛、工場排水の水質規制など一般家庭も含めて各方面で水をきれいにする運動がすすめられています。

そして私たち一人ひとりが、こまめに水を節約する節水型社会をつくる必要があります。いまま一度、あなたの毎日の暮らしのなかで、水の使い方を工夫してみてはいかがでしょう。

水がひらく新しい社会

私たちは水を大切に使うなかで、水によって二十一世紀に向けて新しい社会を作ろうとしています。

水は、私たちにうるおいとやすらぎを与えてくれます。水に親しむ空間づくりが、いま県内各地で進んでいます。県や市町村では、都市河川を修景（水辺に彫刻や緑地を設置したり、橋のデザインを改良するなど）したり、噴水や池を公共施設に付設したり、海岸や河川敷を活用した公園や遊歩道を積極的に作っています。また小川のせせらぎなど、身近かな水との交流の場を残す工夫も考えています。

また水のもつエネルギーをもっと活用しようと新しい地域エネルギーの開発も進んでいます。例えば今まで使われていなかった水を有効利用する中小水力発電やミニ発電の研究開発です。海洋エネルギーや雪の活用についても研究が始まりました。

水は富山県にとってますます貴重な資源です。水を利用し、水に親しむ伝統から、豊かな余力を有する水を総合的に活用していくこと、それは今後の県づくりの重要な課題です。

開かれた県政をめざして

1 日所長懇談会から



熱心な発言の多かった懇談会

県民本位の県政、県民に開かれた県政をめざして、この七月六日に「一日所長」を行いました。県民生活とかかわりの深い二十の出先機関を選んで、県民の方々に一日その業務に参加していただき、県政についての御理解と県政に対する意見、提言をいただくとするものです。

一日所長の皆さんは、下表の方々です。今年は初めて二人の

外国人の方にも参加していただきました。

七月十六日には、一日所長と知事との懇談会が行われました。

上野 税は取られるものではなく、納めるものと認識しました。それから富山県の料理飲食税収入は、石川県の三分の一。宴会は県内で、というPRをしたらどうでしょうか。(砺波県税)

谷口 社会福祉の仕事は陽のあたらない所に陽をあてる仕事。愛情と根気とお金の必要な大変な仕事だと知りました。(東部社福)

三鍋 保健所は「ゆりかご」以前からお世話になっている身近で大切な所です。宇奈月温泉があるので、富山のイメージダウンにならないよう大変神経を使っています。ただ食品添加物や着色料などにもっと監視の眼を向けてほしいと思います。(黒部保健)

作って一般解放したらよいと思いましたが、(林業試)野口 宿泊研修後の子供たちが眼を輝かせて「協同、規律、奉仕」を述べました。子供の生き生きとした言葉を、親は常に聞いてやる耳を持たなければ、と感じました。施設が老朽化して利用者が減っていますが、二上山にふさわしい努力もされているので、もっとPRして皆さんに来てもらいたいのです。(二上青少年)

元の中小業者にも積極的に発注することもお願いします。

林 農林業振興のために下積みですが非常に重要な貢献をしています。蟹谷地区が五ヶ年計画で開発を進めています。立野ヶ原のような成功をおさめるとよいですね。(砺波農林)

浜田 数十年もかかる地道な研究を信念と使命感をもってやっています。木にも個性があつて適地適木とか。子育てにも参考になります。とても良い環境なので、レクリエーション設備を

も水質も良くなっていますが、(二上青少年) 厳しい環境基準で、大気



衛生研究所で

高田 普及員のきめ細くユニークな指導で、地域の農業が発展しています。今後、特産物の振興・PRにもっと力を注いでもらいたいですね。(城端農改)

滑川 食品に関する様々な検査や研究をしています。生産者側の研究が多いようですが、消費者の立場に立ったものもやってもらいたいと思います。

鍋田 広い区域を対象に沢山の業務を行っています。優先順位をつけて主要な所から工事を進めるとか、災害復旧は役所の境界を越えて迅速に実施するとか考えてもらいたいのです。また地



林業試験場で

一日所長のみなさん

- ・ 砺波県税事務所長……………上野 彰 一
- ・ 東部社会福祉事務所長……………谷口 吉 信
- ・ 黒部保健所長……………三鍋 眞喜子
- ・ 高志学園長……………カール デボア
- ・ 衛生研究所長……………阿村 淳 友
- ・ 富山高専技能学校長……………新伊 藤 野
- ・ 職業訓練センター所長……………慶野 田 千代子
- ・ 農業試験場長……………滑川 千恵子
- ・ 城端農業改良普及所長……………高田 志郎子
- ・ 食品研究所長……………鍋田 一 宏
- ・ 高岡土木事務所長……………林 田 上
- ・ 砺波農地林務事務所長……………浜浦 浦 上
- ・ 林業試験場長……………野口 綱 子
- ・ 消費生活センター所長……………野谷 征 由
- ・ 二上青少年の家所長……………川井 井 朝
- ・ 公害センター所長……………藤井 朝
- ・ 近代美術館長……………藤井 朝
- ・ にかわ養護学校長……………平井 朝
- ・ 井田川発電管理所長……………和田 朝
- ・ 健康増進センター所長……………和

(敬称は省略)

デボア 素晴らしい経験をしました。子供や職員から教えてもらうことが沢山ありました。障害を持つ子供も普通の子供、特別視してはならないと感じました。(高志学園)

阿原 伝染病や食中毒の検査など健康や環境を守る大切な施設ですが、あまり知られていません。最高のスタッフと設備で大変な仕事をこなしています。さらに充実させてもらいたいですね。(衛生研)

新村 再就職をめざす訓練生は生活のため一生懸命ですが、卒の訓練生には、職業訓練に併せてしつても必要だと感じました。(富山高専技)

伊藤 高齢者の職業訓練生が多く、再就職に不安と苦労が多いようです。造園業のコースは、老人向きでよいと思いました。(職訓センター)

慶野 平和国家には農政は重要です。そのためには富山県の特性を生かした農業指導が大切でその点、試験場の職員の努力に頭の下がる思いがしました。(農試)



公害センターで

都市部はまだ不十分です。市街地にもっと緑を増やし、都市河川に流れこむ家庭廃水を規制するなど対策が必要です。(公害セ)

川口 富山の人は文化に消極的です。行政側から住民に文化へのアプローチを進めるのは大切なことです。子供に一日館長をさせるなど積極的に文化体験をしてもらうのも良いのでは。(近代美)

藤井 我が子にもできない程の愛情をもって障害児に接している職員の姿には頭の下がる思いがしました。少ない予算で、手作りの教材を使って熱心に教育活動がされています。職員を慰労してあげたいと思いました。(にかわ養護)

平井 県で発電しているのは初めて知りました。ただ治水や用

水に多目的に活用されるダムに水よりも土砂が堆積しているのは何とかならないものでしょうか。(井田川発電)

和田 最新の設備とサービス精神満点の職員、とても良い施設なんです。県民はもっと健康づくりに関心を持つべきです。ですから積極的にPRして多くの県民に利用してもらわなくてはなりません。そのためには運動施設を併設するとか、拡張するなどの充実をしてほしいと思います。(健康センター)

皆さんから県政に大変高い評価をいただきました。有難いね。まだまだ不十分な点もあります。何よりもっと県民に知っていただく、もっと理解と参加を求める、積極的なPRと二人ひとりの県職員の日頃からの努力も必要だとの指摘もありました。

一日所長の皆さんの御意見・御提言を受けとめて、より開かれた県政の実現のために県職員全員が知恵を出し、力を発揮せねばならないと感じました。

TOYAMA JUST NOW

立山砂防トロッコ軌道

今から百二十六年前、マグニチュード六・八の大地震がこの地方を襲いました。直下型大地震で、越中・飛騨・加賀・越前などに大きな被害を及ぼしましたが、それ以上に甚大な災害となったのが、その後に発生した大規模な土石流と洪水でした。常願寺川の源流鷹山がこの地震で大崩壊。その土砂が雪融け水をせき止めて巨大な貯水湖を作りました。人々が恐れたとおり、せきは三回にわたって崩れ、常願寺川流域は一瞬のうちに泥水の海と化したのでした。死者、負傷者は約二万人、流れたり壊れた家屋は数知れず。それ以来、常願寺川は荒廃した天井川となり、たびたび流域に猛威をふるってきました。

富山県は、明治三十九年から最悪の事態に備え、砂防工事を開始しました。しかしあまりの難工事のため、大正十五年からは国の直轄事業となり、今日まで全国有数の大砂防工事が続いています。鷹山の崩壊土砂量は四億立方メートル以上。今までにその半分が流下しましたが、まだ二億立方メートルが上流域に残っています。立山砂防工事の目標は、常願寺川下流の河床の低下、上流の勾配の安定及び土砂崩壊・流出の防止です。

さてこの大工事に必要な人員や資材をすでに四十年も千寿ヶ原から現場の水合まで運び続けているのが、この写真のトロッコ軌道。一日四往復、標高差約六百メートルの急斜面を四十二回のスイッチバックでかせます。平均時速十二キロ、約十八キロの道程を一時間半で結びます。気動車をいれて四両、線路の幅六十一センチのミニ鉄道ですが、富山県を護る大事業の力強い味方です。

荒廃した山に緑がよみがえる日まで、トロッコは毎日険しい道を進みます。
(今年から皆さんに立山砂防工事を理解していただくようと、年四回一般県民を対象に見学会を行っています。お問い合わせは、北陸建設弘済会富山支局(☎〇七六四一五三一八五六)または立山砂防工事事務所(☎〇七六四一八二一〇一〇一)まで。)



▲日本の落差をもつ白岩砂防ダム

深刻化する少年非行

少年の非行問題に関心を!!



最近の少年非行の傾向

警察が検挙した刑法犯十人中の七人までが少年になっていきます。またその刑法犯少年の半分以上が中学生です。

傾向として暴行や傷害などの粗暴犯、覚せい剤やシンナーなどの薬物乱用事犯が増え、非行の悪質化が顕著になっています。

また女子の非行が急増し、前年の年比べて六十倍も増加して

います。特に性非行が増えています。

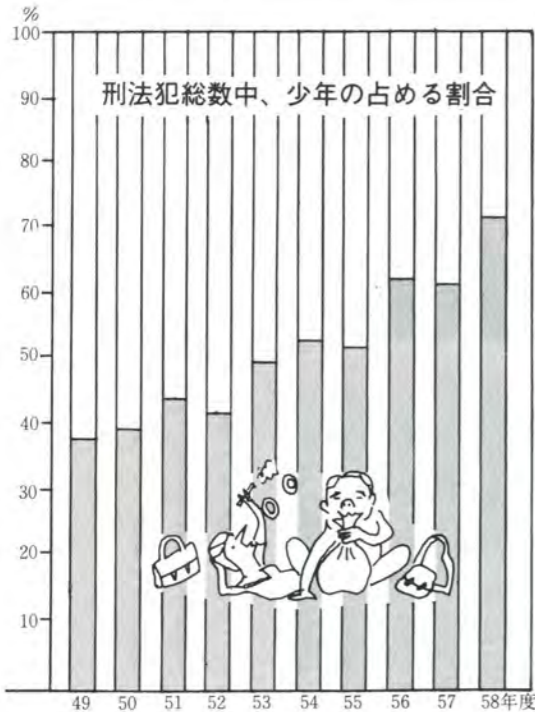
子供の心のシグナル見つけよう

親が子供の非行を知ったとき「知ったとき」と「始まり」との間には、かなり時間的なズレがあります。

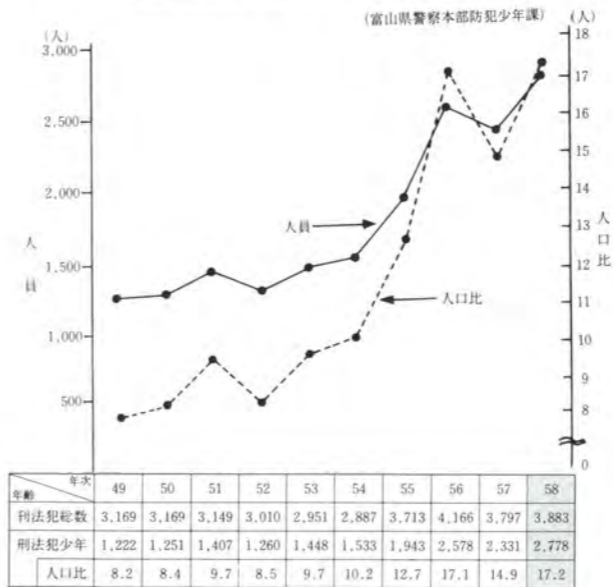
次のような子供の非行化のサインを敏感に読み取り、適切な

指導・助言などで非行の測から子供を守りましょう。

- 1) 初期的な徴候を見逃さない
注意すると反抗したり、ふくれたり、喜怒哀楽が激しくなる、服装、髪型、持ち物などに異常に気を使うようになる、言い訳やウソが多くなる、手紙や電話を気にするなど、なんとなく子供の言葉や行動が変化してきます。
- 2) 非行の注意信号
見慣れない友達が訪ねてくる、行先を尋ねても素直に言わない、態度に落着きがなくなった。成績が下がる、言葉づかいや態度が変わったなど、いままではかなり異なった行動をとるようになります。
- 3) こうなったら赤信号
昼間は寝ていて夕方になると外出する、無断外泊する、授業料などを使い込む、家のお金や品物を無断で持ち出す、あいくち、ナイフなどけんか道具を持



★刑法犯少年の検挙補導の推移

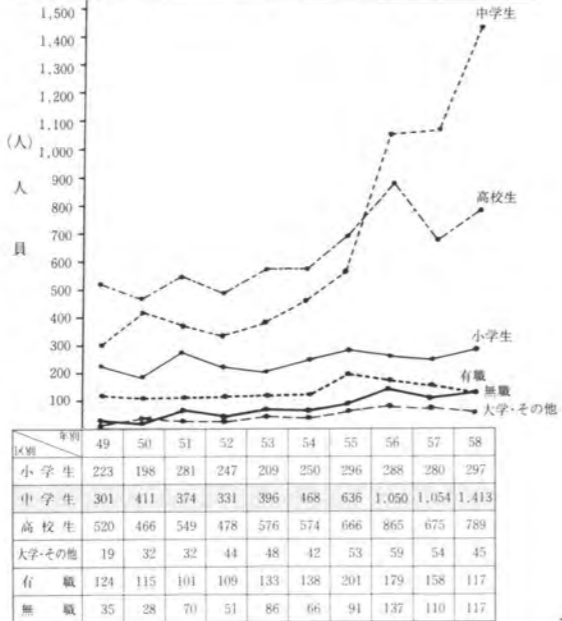


いま少年非行は戦後第三のピーク形成期にあります。昭和二十六年と三十九年の過去のピークに比べて、非行の内容、件数ともに大変憂慮される状況になっていきます。富山県で昨年一年間に盗みや暴行など、刑法に触れる行為で検挙補導された少年(刑法犯少年)は二千七百七十八人で、これまで最高だった昭和五十六年を二百人、七・八倍も上まわり、戦後最高を記録してしまいました。

ち歩くなど、こうなったらかなり危険な状態です。地域ぐるみで子供を守る。私たちの身の周りをよく見てみましょう。ポルノ映画、ポル

ノ雑誌、ギャンブル、有害広告物など、街には子供にとって有害なものをはらんしています。私たち大人が地域ぐるみで環境の浄化に取り組んで、子供たちの健全な成長を図りましょう。

★刑法犯少年の学職別検挙補導人員の推移



なやみに答える ヤングテレホン

困り事、なやみ事があるときは気軽に相談しましょう。

(富山) 0764
よい子のコーナー
41-5057
(高岡) 0766
よいコーナー
24-4157

受付時間
●平日
AM 8:30~PM 5:00
●土曜日
AM 8:30~PM 0:30

道路は夢のパッケージ

— 8月は「道路をまもる月間」です。 —



道路は、私たちの身近な公共施設です。地域内の生活道路から地方と地方とを結ぶ主要幹線道路まで、道路は公共施設としてさまざまな役割を担っています。

— なくてはならない大切なもの —
まず道路の上を眺めてみましょう。人や自転車や自動車がたくさん通っています。それから電柱が立っていて電線や電話線が伸びています。バス停や路面

電車の線路もあります。道路の下には、上下水道管やガス管が走っています。消融雪パイプも埋設してあります。大きな都市へ行くと、地下街や地下鉄も建設してあります。つまり道路は、交通の確保のためだけではなく、社会にとって不可欠な公共施設の収納スペースの役割も果しています。

また早朝のジョギングコース、人と人との出会いの場、花と緑の供給空間など、道路は私たちの憩いとコミュニケーションの場にもなっています。そして万が一の場合には、防火帯や避難路、緊急車両の通行など、私たちの命や財産の安全を確保する役割もあります。

将来は、ニューメディア時代における情報ネットワークの埋設空間として期待されています。

— できることから始めましょう —
ところで、このような大切な役割を担っている道路は、いまどうなっているでしょうか。自

転車の不正駐車や路上の立看板が目につきますし、空きカンやタバコのすい殻の投げ捨てもあとを断ちません。これでは道路の美観が損なわれるばかりか、本来持っている機能を十分に発揮することができません。それどころか、道路は社会にとって危険な場所になることすらあります。

今月は「道路をまもる月間」。道路をいつも広く、美しく、そして安全に使うため、交通安全施設等の点検と整備の強化、道路の正しい利用と愛護思想の普及徹底を図る月間です。

国や県、市町村など道路管理者は、不法に道路を占用している立看板や自転車を除去したり、道路パトロールを行って補修や清掃など道路環境の整備に努めています。

日頃、道路を利用し、道路から恩恵を受けている私たちも、美しく安全な道路環境を維持するために、できることから始めたいものです。

自転車は、通勤・通学・買物などの手軽な交通手段として、健全な屋外スポーツ・レジャーの用具として、年々その利用者が増えています。

しかしその一方で、駅周辺や商店街での自転車の不正駐車が銀輪公害として大きな社会問題となっています。

ところ狭しと無秩序に置かれている自転車は、都市の美観を損ねるばかりか、歩行者や自転車の通行の大きな妨げとなります。

自転車は歩道にあふれて不正に駐車していると、歩きにくいので歩行者はやむなく車道を通ることで、大変危険です。また目の不自由な人の道標となる「点字ブロック」をかくしてしまったり、車イスの通行を妨げたり、障害をもつ人が危険な思いや不便な思いをします。

また自転車が車道に駐車している場合は、一般車両はもちろん消防自動車やパトカーなど緊急車両の通行の妨げとなり、万一の場合、大変な事態をひきおこすこととなります。

そのほか自転車の長時間放置は無断借用や盗難を誘発しやすく、防犯上の問題があります。なお、長時間の放置自転車は遺失物や粗大ゴミとして処分されることがあります。

自転車の不正駐車をなくすため、県、市町村、警察、その他関係団体などが協力して、自転車駐車場の整備、自転車駐車対策条例の制定、放置自転車の整理・撤去などを積極的に進めています。

しかし自転車の不正駐車の一掃は、関係団体等の努力だけではできません。利用者のモラルに負うところが極めて大きく、一人ひとりの自覚と、地域住民の理解と協力が何よりも必要です。

○自転車は自転車駐車場に駐車し、秩序ある駐車を心掛けましょう。

○目的地まで歩いて数分で行けるときは、なるべく歩きましょう。

○自転車の防犯登録は、近くの警察で必ず受けましょう。
○鍵は必ずかけましょう。

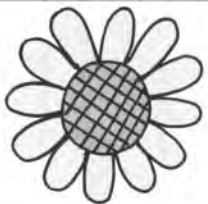


バイコロジ

もよいけれど……

自転車の不正駐車追放

健康メモ ひとくち



不快指数

気温が高ければ暑いというのは当然のことですが、私たちの感ずる暑さ寒さ（体感気温）は、かならずしも気温の高低だけで左右されるものではありません。風や温度や直射日光の量などがかなり影響しています。例えば気温が三十度をこえた場合湿度が十増すごとに約一度暑く感じ、風速が一増すごとに一度涼しく感じるといいます。もちろん、これは感覚の問題ですから個人差があります。

さてこの頃は不快指数という言葉をよく聞きますが、これは私たちが日常生活のうえで不快を感じる度合を数値で表現したものです。不快指

数が七十をこえると一部の人が、七十五をこえると約半数の人が、八十をこえると全員が不快を感じるそうです。暑苦しくて眠れない夜は、八十五をこえていることもあるとか。不快指数の高い夏をなんとか涼しくすごそうと、昔からいろいろ工夫がされています。直射日光や照り返しをさえぎるスタレ、涼しさを演出する風鈴や軒シノブなど。最近では除湿と冷房を兼ねたエアコンを取り付ける家庭が多くなりましたが、冷えすぎは禁物です。頭痛や虚脱感をうったえる冷房病やカゼの原因となります。

富山県地方は梅雨明けの七月二十日頃から約一カ月、連日三十度をこえる真夏日が続きます。不快指数がグンと上がって寝苦しい夜が続きます。うんざりします。

冷房ばかりにたよらず、逆に夏の暑さを活用して健康づくりをしてみませんか。思いきって休暇をとって山や海に繰り出して心地よい汗を流す。そしてしっかりと食べて、ぐっすり眠る。夏バテを防ぐ最高の工夫です。

滑川市駅前中央公園

国鉄滑川駅前周辺再開発事業の一環として、駅前中央公園が完成します。総面積一・一畝、芝生広場、コミュニティ広場、児童コーナー、休憩施設などを備えた本格的都市公園。中央部の池には、高さ七・六メートルのモニュメント「美しい海の塔」がそ



▶環境美化の奉仕の人々

まちからむらから

びえています。日展作家の横山豊介さん（井波町）の作品で、ブロンズ製。モニュメントとしては日本海側では最大級のもので、円すい状の波しぶき、その頂と周囲に五体の人魚、二尾のブリ、金色に輝くホテルイカ。二十一世紀に向けて、協調と躍進をめざす海浜都市滑川を象徴するにふさわしいものです。

近くには文化センター（図書館、博物館）、中央公民館、雇用促進住宅、ショッピングセンターなどがあり、この周辺は市民の憩いと集いの場として親しまれています。

近くの信用金庫の職員の人たちが土曜日の午後に公園内の環境美化奉仕をしています。いつもきれいな水と緑を保つことができ、市民から感謝されています。

シラエビ

春頃から魚屋さんの店頭には、シラエビが出まわっています。シロエビともヒラタエビとも呼んで、富山では値段も手ごろでなじみの深いものですが、実は世界的にみて大変珍しいエビだそうです。

富山湾は湾口が広く外洋性で、しかも「藍鰓」と称される日本一深い海底谷が海岸近くまでせまっている神秘の海です。ですから富山湾には他に見られない珍しい生物が生息しています。ベニズワイガニ、ホタルイカ、バイなど。シラエビもその一つというわけです。

日本では相模湾、駿河湾、世界では地中海、イギリス近海などが知られていますが、とても食用にする程の量はとれないそうです。

庄川、神通川、常願寺川の河口につながる海谷の、深さ四十センチから三百センチで網をひいて、シラエビ漁を行っています。

とやま旬の味



シラエビは体長五〜八センチ、白色透明で、天プラや刺身、味噌汁の身に使います。小型なので身よりもエビ独特の味と香り、そして歯ごたえを楽しめます。夏場には、ソーメンのダシに使って、ぜいたくな味が楽しめます。

県外に出荷するときには、ベッコウエビという名前が付けられます。

このくらしの情報コーナーでは、読者の皆さんからの投稿をお待ちしています。原稿の送り先は、〒913-00 富山市新総曲輪一番七号 富山県知事公室広報課

くらしの情報コーナー 係 まで

暮らしのメモ ひとくち



夏物衣類の洗たく

夏物衣類の手入れのポイントには、汗をつけたままにしておかないということにつきまします。水洗いできるものはよいのですが水洗いできない衣類はこまみます。

綿やポリエステルのように本来水洗いできるものでも、色が落ちる、型くずれするなどといったことからドライクリーニングに出さなければならぬ衣類が多くなっています。

しかし、汗のような水溶性の汚れはドライクリーニングでは十分には落ちません。ドライクリーニングができない衣類を着るときは下着をつけるなどできるだけ汗をつけにくい工夫や、着用後、汗の部分を堅くしぼったタオルなどでたたいておくことよ

いでしょう。

（白い衣類を白く着る）

今夏も白が主流ですが、白はいつも真白に着たいものです。汗や汚れはついた時には目立ちませんが、時間の経過とともに、がんこな汚れとなり、黄変やシミの原因となるので、できるだけ早く取り除きましょう。

ブラウス類などのデリケートなもの、洗濯機で洗ってしまわないで手洗いすると、洗たくを繰り返してもあまり傷まず、白くきれいな状態で長く着れます。

また、ほとんどの白い衣類には、蛍光剤と呼ばれる白く見せるための染料のようなものが使われていますが、蛍光剤は直射日光などに長時間当たると分解されて黄変してしまいます。着用や干し場所に注意が必要です。

この蛍光剤は大部分の家庭用合成洗剤に含まれていますが、使いすぎると、生成製品（綿、麻などの自然な色をそのまま生かした衣類）まで白くしてしまいます。注意して使用しましょう。

6月16日～7月15日

6月16日

熊野川ダム竣工

大山町手出地内で建設がすすめられていた県営熊野川ダムが竣工しました。

重力式コンクリートダムで、県営ダムとしては高さは第1位の89m、総貯水容量では室牧ダムに次いで第2位の910万立方mです。

これから治水、水道、発電など熊野川の総合開発計画の中心施設として活躍します。



▲6月定例議会代表質問

6月18日

6月定例県議会開く

12日の会期で、定例県議会が開かれました。富山県高志リハビリテーション病院条例や農政の確立などに関する意見書など計28案件を可決し、6月29日に全日程を終えました。

6月25日

マーロー入国

去る5月9日、友好県省を締結した中国遼寧省から贈呈されたマーローが、横浜港に到着しました。6月27日には、横浜で検疫中のマーローに先立って同行した獣医が県庁を訪問しました。

マーローは8月2日に富山に到着し、富山市ファミリーパークで皆さんにおめにかかる予定です。

7月1日

県警観閲式

富山県警発足30周年の観閲式が県庁正面広場で行われました。

部隊査閲、部隊行進のあと警察犬の訓練、レインジャー隊・白バイ隊の訓練の実演が行われました。また警察音楽隊のドリル演奏が式典に華を添えました。

なお親しまれる警察をめざしている県警では、8月4日に「おまわりさんの音楽会」を富山市内で行う予定です。

7月2日

空港周辺に緩衝緑地

今年度から富山空港周辺環境整備、騒音防止対策のため緩衝緑地帯造成事業がスタートするのに伴って、公害防止事業団と県との間で、共同福利施設建設業務及び譲渡契約の調印が行われました。

完成は、60年6月末の予定です。

7月5日

知事と語るつどい

魚津市で知事と語るつどいが開かれました。会場となった魚津市農協会館4階ホールには、市民500人余が集まり、地域内交通網の整備、教育問題などについて、約2時間にわたって知事と意見を交換しました。

また、まちまわりで知事は、新川

ヴィーラ、経田漁港など市内各所を視察しました。

7月6日

一日所長

県下20か所の県の出先機関で、一日所長が実施されました。(詳しくは本文10ページを御覧ください。)

7月9日

遼寧省へ答礼団

5月に友好県省の締結をした中国遼寧省へ答礼訪問する県友好代表团(団長・長島副知事)が出発しました。

一行は、省都瀋陽市や鞍山市・大連市などを表敬・親善訪問し、19日帰国の途につきました。

7月10日

食品一斉取締り

夏場に多発する食中毒や食品による事故の防止を図り、食品の衛生を確保しようと、今年も夏期の食品の一斉取締りが始まりました。

食品衛生監視員65名のほか、食品衛生指導員約500名が8月9日までの期間中、街頭に出て飲食店やスーパーマーケットの食品売り場などを立ち入り調査します。

パラリンピック出場

中橋一彰君

英国ロンドン郊外のグッドマン障害者スポーツセンターで、50か国1,500人が参加して開催される国際身体障害者スポーツ大会(パラリンピック)に、出場する中橋一彰君(大

門町広上)が、出発に先立ち県庁を訪問しました。

中橋君は、スラローム、100m、200m、1,500m、リレーの5種目に出場します。

遼寧省農業技術研修員受入れ

日中農業技術交流事業の一貫として、県では中国遼寧省より初級農業技術者を招請しました。県内農家等での体験研修を通じて農業技術の積極的な相互交流を図ります。

今回来県したのは、刑垂夫さん(33歳)ほか3名で、野菜・稲作・養豚の各部門で、10月8日までの3か月間研修を受ける予定です。

7月12日

技能は永遠の宝

県民技能ライブラリー

富山高等技能学校では、新しい技術・産業構造の変化に対応できる高度技能者の養成を図ろうと、県民技能ライブラリーを開室しました。

訓練方法は、視聴覚教材及び機器の活用を通じた自学自習になります。

7月14日

青少年育成県民運動

推進指導員研修会

地域に根ざした青少年育成県民総ぐるみ運動の推進を図ろうと、活動の第一線に立つ推進指導員の研修会が農協会館で行われました。

県では新たに推進指導員207名を増員し292名としましたが、この数は各小学校区単位につき1名ずつ配置される数です。研修会の席で、知事から市町村代表に依頼状がわたされました。

▶県警三十周年観閲式



◀マーローの獣医さん訪問



◀デパート食品売場の立入検査



▲ガンバレ中橋一彰君!!

夏夜 花火

● 正しく使って楽しい花火

すべて物事にはルールがあるように、花火遊びにもルールがあります。花火や花火の袋・箱に「注意書」が付いています。よく読んで使用方法を守って、花火を楽しみましょう。

